

# Extra Mile Challenge 2015



## UDトラックス エクストラマイルチャレンジ 世界各国のドライバーが上尾で スキルを競い合った!

UDトラックスは11月9日、埼玉県上尾市の「エクスペリエンス・センター」で、日本、南アフリカ、オーストラリアのトラックドライバーの代表選手による「エクストラマイルチャレンジ2015ファイナル」を開催した。これはトラックドライバーの実戦に即したスキルを競うもので、昨年に続き2回目。非常に興味深いイベントで、各国の応援を含め、ギャラリーも大いに盛り上がった。



日本チームの論議物流の皆さん。左より小川幸一（ドライバー）、向野祐司代表取締役、熊谷清ナビゲーター（業務課長）

トラックドライバーに求められるさまざまなスキルを、より実際の仕事に近い形で競い合うイベントが11月9日に開催された。エクストラマイルチャレンジ2015ファイナルと銘打たれたイベントがそれで、埼玉県上尾市のUDトラックスの「UDエクスペリエンス・センター」と隣接するテストコースがその舞台。このイベントでは、「収益」「燃費効率」「稼働率&メンテナンス」「安全運転」を採点基準に、①始業点検、②運転転換、③輸送に関する3つの競技を実施。ドライバーとナビゲーター（助手）が力を合わせて挑戦し、その得点を競うというもので、今年5月にオープンしたUDエクスペリエンス・センターには、南アフリカ大会、オーストラリア大会を勝ち抜いた2人1組の選手および応援団が集結。日本からは、予選を経ないドライバー参加で論議物流（本社・東京



「エクストラマイルチャレンジは、お客さまの仕事を現場をより良くしたいという、UDトラックスの想いを具現化したイベント」と、と挨拶する小川幸一（左）と向野祐司（右）。

「テストコースは、お客様に定額のお支払いが可能なようになっています。また、輸送量も異なる上、タイムトライアルメニューでもあるので、これら複雑に組み合わせた条件を勘案して、最も収益性の高い「輸送」を実現してはならないのだ。さらに、この「輸送」競技に用いられるトラックは、CDV（キャブ直列）で約10tのタミロードが積載されると共に、「ウオーターバル」を称する、重い運転をする水がこぼれる二重容器が設けられ、こぼれた分は減点となるなど、なかなか気が抜けない減点となる。加えて、この「輸送」競技では燃費も計測されており、これもスコアに反映されるのである。

そのほか、15分間の制限時間内に42項目の始業点検を実施し、9つの故障箇所を見つけて始業点検競技、設定されたコースを運転し、運転技量を競う競技など、いずれも普段のスキルが試される競技が用意されており、各国のチームとも緊張感を持って競技に挑んでいた。それだけに競技を終えた後の達成感も格別のもので、終了の合図とともに選手たちのホッとした表情は各国様であった。

また論議物流の向野祐司代表取締役は、「今回は、日本の代表チームというところで打診をいただき、急ぎも参加することになりましたが、私どものドライバーの腕には確かなものを感ぜたいので、腕試しの意味を込めて出場させていただきました。競技の内容については、今朝初めて教えていただいたのですが、ただ運転して早いだけではなく、荷役もあるし、エゴ運番もある。荷役の丁寧さや安全性も審査される。また非常にトリッキーなコースで運転技量も試される……、非常にレベルの高い競技だなという印象を持ちました。日頃私どもは、交通事故の撲滅を標榜し、お客様に安心して任せられる仕事をしていますが、私どもの会社でもこういった実践的な取り組みを導入したいと思えました。今日はとても刺激を受けました」と語った。



輸送競技はドライバーがいかにか収益を上げる（積み荷を輸送して獲得）かがポイント。その収益から減点方式の各課題に挑み、いかに規定をクリアし、最終益を得るかを競うもの



輸送競技は、テストコース内に積み込み場所と降ろし場所が用意され、規定時間の20分以内で周回し効率的に積み上げる競技。積み荷も商品種類によって積める個数が異なるが、これはドライバーの判断で決まる。また、積りやすさや積みやすさなど、ドライバーのスキルも試される。



競技の前には各チームの戦術タイムが決められている。



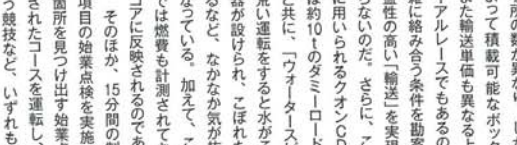
メンテナンス競技は、42項目の始業点検を実施、かつ9つの整備不良を見つけて出すというもので、事前に故障箇所が用意されている。



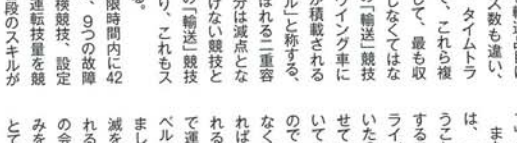
運転競技は、パイロンが設置されたコースで、縦列駐車、スラローム、車庫入れを行なう。



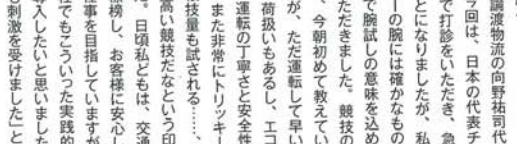
スラローム走行、写真はパイロンを倒してしまつた瞬間だ。



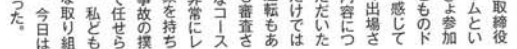
縦列駐車。競技が終わると観客から歓声が上がった。



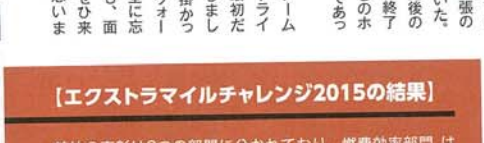
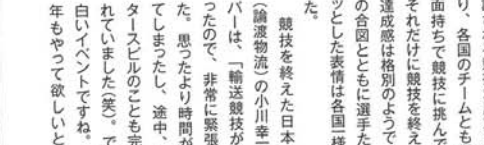
縦列駐車。競技が終わると観客から歓声が上がった。



縦列駐車。競技が終わると観客から歓声が上がった。



縦列駐車。競技が終わると観客から歓声が上がった。



### 【エクストラマイルチャレンジ2015の結果】

競技の表彰は3つの部門に分かれており、燃費効率部門は南アフリカチーム、日常（運行前）点検部門はオーストラリアチーム、運転技量部門は日本チームが獲得。総合順位では、1位オーストラリアチーム、2位日本チーム、3位南アフリカチームという結果になった。

